

ボランティア・市民活動情報誌



コンボ

1.2 月号

合併号

2019
vol. 233

communication × voluntary



子どもたちと同じ目線で話をするボランティア
(こどもひろば 大阪国際交流センターにて)

特集

子どもの生きる力を育む

「外国にルーツをもつ子どもたちへのまなざし」

～こども日本語教室 こどもひろば～

- 3 「こども」を中心に、家庭・学校・地域の連携を！
～地域こども支援ネットワーク事業シンポジウムを開催～
- 7 芋煮で“ホット”と。世代を超えた交流はじまる

外国にルーツをもつ子どもたちへのまなざし

～こども日本語教室 こどもひろば～



部屋のスペースを区切り、小学生と中学生が分かれて勉強します

「こどもひろば」の活動は、大阪・天王寺区にある大阪国際交流センター内で、毎週月曜日の午後5時から8時半まで開催されています。子どもたちの主な国籍は中国・韓国・フィリピンなどアジアを中心に、30人以上の小学生から中学・高校生までが集まり、10人以上のボランティア・スタッフ（サポーター）が学習支援に当たっています。

国籍を問わない居場所づくり

事務局長の鵜飼^{うかいまよこ}聖子さんは、以前、日本語を学ぶため台湾から来日した女性から、日本に呼び寄せた息子の進学について相談を受けました。

「母国の中学を卒業して、どうすれば日本の高等学校に進学できるのか」当時、大人の日本語教室でボランティア活動をしていた鵜飼さんは、外国にルーツをもつ子どもたちへの学習支援の経験や知識を持ち合わせていませんでした。折しも「日本の多文化な子どもたち」のボランティア養成講座が目にとまり、何らかの解決策が見つかるのではないかと参加。受講するうち、親の都合で来日した外国にルーツをもつ子どもたちの実情が見えてきました。母国と異なる文化・環境で、日本語がわからず学校生活や友だち作りにも悩み、学習の遅れや

孤立感を味わっている子どもたちがあまりに多いことに驚きました。

講座終了後、主催者の呼びかけで、「国籍を問わず、子どもたちがもっと生きいきと輝ける場所を作りたい」と有志が集まり、翌年2005(平成17)年5月に「ことばの会」子どもひろばとして誕生。5年後に大阪国際交流センターとの共催事業として、拠点を移し、新たなスタートを切りました。今年はその実績を高く評価され「あしたのまち・くらしづくり活動賞の内閣官房長官賞」を受賞しました。

言葉の壁で孤立する子どもたち

子どもたちは、日常会話ができるようになって、読み書きや宿題が難しく、毎日がストレスの連続です。設



休憩時間にけん玉やオセロなど楽しむ小学生

立メンバーは、日本語の指導以上に必要なのは「子どもたちの居場所」であると痛感しました。時には宿題を一緒にやるお助けマンとして、また各国の絵本を集めたり、子どもたちを否定せず母語活動にも工夫を凝らししました。

そんな中、日本での学校制度がわからず、学齢期を過ぎてても高校に行けない、宙ぶらり状態、どこにも所属せず、学びたくても学べない、教育を受ける機会が奪われている「ダイレクト」と呼ばれる子どもたちの存在を知りました。

進学への道のり

高校進学のための「手続き」と「受験勉強」は、入試を控えた親子にとって極めて高いハードルになっています。煩雑な手続きを理解し、超難解な申請書類の準備が必要です。日本人には見慣れた漢字も、非漢字文化圏の外国人はお手上げ。

また親が描くプランと、子どもの現実にはギャップがあります。そんな親子に高校進学の必要性和、子どもの学力の現状を伝え、受験担当チームが個別対応。模擬試験の実施や高校への体験入学に同行するなど二人三脚で全力を尽くします。

「毎年、合格発表の時までドキドキ

します」とボランティア。ボランティアは、手さぐりで支援を続けています。

子どもに寄り添うボランティア

こどもひろばのボランティアには、語学力は求められません。しかし、子どもたちの多くは「この人とは話ができない」と感じると、心のシャッターを下ろしてしまいます。ボランティアには子どもたちとの信頼関係を築く努力を惜しまず、顔の表情や仕草から心の変化やそのサインを見落とさず、子どもに寄り添う力を求めています。

また、ここで学んだ子どもたちがボランティア登録し、自分たちの経験を活かして学習支援の活動をしていま



分数の解き方を一緒に考える大学生ボランティア(左)



ボランティアは勉強の進み具合を学習ファイルで共有しています

す。高校・大学に進学した後もここで出会った友だちと再会できるように同窓会を開いたり、いつでも帰ってこられる場所として温かく受け入れられています。

「こどもひろば」は、日本で学ぶ外国にルーツをもつ子どもたちが進学にたどり着くまで、なくてはならない学習支援の場であり、大切な「居場所」になっています。

ときどき、記者、古川繁美

こども日本語教室 こどもひろば

問合せ：大阪国際交流センター(天王寺区上本町8-2-6)

TEL06-6773-8182(担当:周)

*学習支援ボランティア募集中 詳しくは、P.9情報マーケット参考

「子ども」を中心に、家庭・学校・地域の連携を！

地域こども支援ネットワーク事業シンポジウムを開催

大阪市ボランティア・市民活動センターでは、今年度からこども食堂や学習支援など市内各地で開催されている子どもの居場所づくり活動を応援し、社会全体でこどもを支える仕組みづくりを推進するため、「地域こども支援ネットワーク事業」を実施していきます。

11月7日、同事業の啓発シンポジウム「こども支援から始める地域の居場所づくり」を丸善インテックアリーナ大阪で開催しました。



こどもの居場所づくりに取り組む活動者が報告

ボランティアや 社協職員など 約200人が参加

当日は、こども食堂や子ども屋などを運営する団体のスタッフ、各区社会福祉協議会や行政機関の職員、社会福祉法人などの施設職員、これから活動を始めたいと考えている市民や学生、ボランティア活動に熱心な企業の社員など約200人が参加しました。



基調講演で子どもの貧困について話す山野教授

大阪の子どもたちを 取り巻く状況

はじめに、大阪府立大学 地域保健学域教育福祉学類の山野則子教授から、「いまー大阪のこどもたちは…」と題しての基調講演がありました。その中で、山野教授は①『国の動向』として「学校」を拠点として地域との連携・協働で活用すること、教員以外の専門人材(スクールソーシャルワ

カー)を増やすことが検討されている、②『大阪の子どもの生活に関する実態調査』の分析から、生活の困窮度が高い家庭ほど、孤立し身近に相談できる人が少なくなり、就学支援や既存のサービスの提供が行き届かない、③『学校プラットフォーム』として子どもの非行・問題行動、その背景にある貧困・いじめ・虐待など子どもの実態をつかみ支援できるのは学校しかないという考えから、学校を拠点として学校・家庭・地域をつなぐ仕組みづくりと制度化(連絡会議など横の連携の定例化)が必要である、④『リジリエンス(子どもたちが逆境を克服する回復力・対応能力の意)』、学校・家庭・地域が相互補完して各所での対話とコラボレーションでリジリエンス環境を作ることが大切である、と報告しました。

ブームでなく、 ボランティア活動を文化に

市内でこどもの居場所づくりに取り組む実践者として、NPO法人ハート

フレンド代表の徳谷章子さん、社会福祉法人四恩学園理事長の中西裕さん、平野区加美北社会福祉協議会会長の西野義さんと地域福祉コーディネーターの山口政野さん、中央区社会福祉協議会主査の藤井吉美さんが登壇し、それぞれ活動内容を報告しました。その中で、徳谷さんは「地域のネットワークの核となつて、子どもや乳幼児親子、高齢者など、みんなが輝く居場所をつくっていききたい」と熱く語り、他の登壇者も大きくうなずきました。

結びに、大阪市ボランティア・市民活動センターの上野谷加代子所長が山野教授との対談で、「ボランティア活動を一時的なブームにせずに文化と



子どもの居場所づくり活動への期待を話す上野谷所長(左)と山野教授(右)

して持続させていくこと」、「あくまでも子どもを主語に、家庭・学校・地域が連携していくこと」が重要であると強調しました。二人はとにかく「子どもを元気にする」「子どもの笑顔を见たい」と話し、シンポジウムを締めくくりました。

ときどき、記者 山中晴彦

セレッソ大阪とあそぼう！

スポーツの秋、子どもたちがサッカーを通じて交流を深める

11月24日、大阪市内で子ども食堂や集い活動に参加する子どもたちが、セレッソ大阪のサッカー教室とリーグ観戦に参加しました。この交流会は大阪市ボランティア・市民活動センターが、大阪市をホームタウンとするJリーグチーム「セレッソ大阪」の協力で開催したもので、当日は5歳から小学6年生までの子ども21人と、付添のボランティアや保護者など11人が、スポーツを通じて交流を深めました。

子どもたちは午前中、北区にあるセレッソフットサルパークに集合し、鮮やかな緑色の人工芝のコートで1時



吉田コーチも入りミニゲームを楽しむ子どもたち

間サッカーに親しみました。この日、子どもたちに優しく教えてくれたのは、セレッソ大阪スポーツクラブでコーチを務める吉田貞和さだかずコーチと鄭浩幹ちよんぼんコーチ。吉田コーチはボールを使った鬼ごっこやコーンを置いてのドリブル練習を交えながら、低学年の子どもたちにボール蹴る楽しさを笑顔で伝えま

けました。最後は両コーチも入ってミニゲームを開催し、各チームが一つのゴールを目指し思いっきりプレーしました。

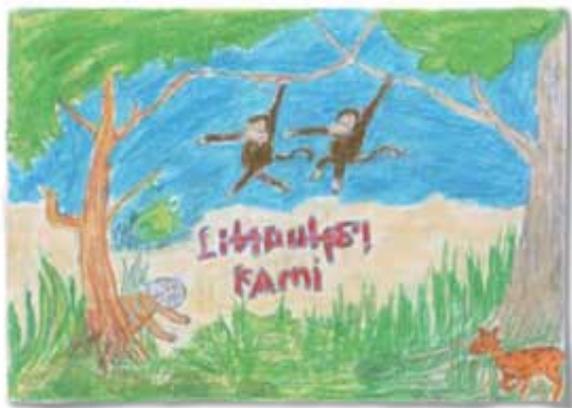
午後からは東住吉区のヤンマースタジアム長居に移動し、セレッソ大阪と柏レイソル戦を間近で観戦。初めてJリーグを観る子もいましたが、プロ選手のプレーに歓声をあげながら応援していました。

大阪市ボランティア・市民活動センターでは、地域子ども支援ネットワーク事業を通じて、子どもたちの様々な体験や交流活動に協力いただける企業や団体を募集しています。詳しくは、地域子ども支援ネットワーク事業のホームページをご覧ください。



子どもたちに優しく指導してくれた鄭コーチ(左端)と吉田コーチ(右端)

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っている「リヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト
きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。
そして、地元の人々の生活を助けること。
地元子どもたちの明るい笑顔を力にして
私たちはこれからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

「保険会社は、紙を多く使う仕事だから木を地球に返そう」と始めた運動でした。だけど

それは単純な話ではなかった。
インドネシア・パライヤで知ったことは「森林は地元の人たちが、生き残るために仕方なく木を切っていたという事実」。「植林に加え、果樹も育て果実を農民の新しい収入源にする」というプロジェクトをはじめた。人と森・生きものが共に生き残る場所を取り戻そう。
「植えた木の本数」「面積」といった数値だけでは本当の意味で熱帯林は再生しません。地域の人々と手を取り合って考えた時間が、明日の地球環境を再生させる。
三井住友海上は、まだまだ勉強中です。

三井住友海上は、生物多様性の保全活動をすすめています。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

NPO法人化のメリットは？

■NPO法人格を取得する主なメリット

- 1 法人名義で契約行為ができます(銀行口座の開設や、不動産の契約、自動車や備品のリース契約など)。
- 2 すべての財産は法人に属するため、持続的な組織体となります。
- 3 社会的信用の向上(法令や定款に則った業務運営などが行われます)

■NPO法人格を取得することによって生じる主な義務

- 1 情報公開が義務づけられており、さまざまな事務書類、会計書類を整備して市民の監視にさらされる存在となります。
- 2 所轄庁や法務局、税務署など関係官公庁への届出等が必要になり、怠った場合には罰金が科せられます。
- 3 法人税法上の収益事業を行ったり、職員を雇用する場合は、所得税、法人住民税、事業税、消費税、労働保険、社会保険などの諸事務があります。(*NPO法人に限らず)

参考

内閣府NPOホームページ <https://www.npo-homepage.go.jp/>
「図解でわかる NPO法人一般社団法人いちばん最初に読む本」(アニメ出版)

NPO法人になっただけでは、社会的信用の向上には直結しません。事業の内容や質はもちろん、それらをきちんと社会へ発信、還元していくことが必要です。

教えて、
おくばっくん!
Vol.2



おくばっくん

中央区フィランソロピー懇談会
CFK

第19回 企業・市民協働セミナー

CFKチャリティーフェスティバル vol.8

未来につなげよう 防災・減災!!

～自分のこととして考えよう～

CFKでは東日本大震災以降、防災を自分のこととして考え、また大阪から元気を届けたいとの思いでチャリティーフェスティバルを開催してきました。

これまでさまざまな世代が参加し、また中・高校生など若い世代の力が発揮されるなど、開催を重ねるごとに人と人のつながりが少しずつ広がってきました。このつながりを大切に、震災を忘れないというメッセージを発信し続け、さらに若い世代の人たちと一緒に防災減災を考える場として、今年度もチャリティーフェスティバルを開催します。ぜひ、ご参加ください。



昨年の様子

日時 平成31年1月19日(土)午前11時30分～午後3時

場所 中央区民センター (中央区久太郎町1-2-27)

内容 ●「少年防災士」坂本紫音さん、出水真輝さんによる講演 ●中・高校生による詩の朗読(震災関連詩集より)
●お楽しみ抽選会 ●各種団体によるパフォーマンス(あまゆーず、他)
●手作り用品の販売(大阪市立淀商業高校、他) ●模擬店(パン、クッキー等)など
*内容等は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

主催 中央区フィランソロピー懇談会(CFK) 中央区ボランティア・市民活動センター

入場無料
手話通訳
あり

お問合せ 中央区社会福祉協議会 中央区ボランティア・市民活動センター TEL 06-6763-8139(担当:藤井)

芋煮で「ホツ」と。世代を超えた交流はじまる

第5回ホツとネットおおさか避難者交流会に多世代のボランティアが参加

11月、東日本大震災より大阪に避難している人たちが集い、交流会を開催しました。この交流会は、年に1回、大阪府下避難者支援団体等連絡協議会（ホツとネットおおさか）が主催しています。ホツとネットおおさかは、これまでに交流会と、避難者に情報を届ける定期便の発送など支援を続けてきました。

細く長くつづく支援

今回の交流会のテーマは「再会」。震災から7年目を迎え、大阪から離れて暮らし始めた人など集まり「久しぶりに懐かしい人たちに会えて嬉しかった」と顔がほころびます。

各ブースでは、法律・不動産・健康相談、囲碁・将棋教室など加盟団体が専門分野や得意を活かして、参加者を笑顔で迎えます。手作り茶碗と茶杓で、抹茶を点てるボランティアなどそれぞれがほっこりできる空間になるよう参加者をおもてなしします。



避難者と一緒につくる獅子舞飾りのパーツを準備するボランティア



抹茶を点てるボランティアが参加

インターアクトクラブの芋煮会と合同開催

創立100年以上の歴史ある学校法人大阪貿易学院 開明中学校・高等学校（城東区）。同校のインターアクトクラブは、大阪中之島・大阪東ロータリークラブの支援の元、ゴミ拾いやイベントの手伝いなどボランティア活動をしています。

昨年と同クラブが、避難者支援の活動として、東北地方の季節行事の「芋煮会」を始めました。家庭科室に高校1年生から高校2年生の部員が集まり、牛肉と里芋などの具材にしゅうゆ味の山形風の芋煮を作ります。

高校2年生の部長は、「前は、芋煮がどんなものか想像できなかったけど、今年は2回目でスムーズに調理し、美味しくできました！」と満足気。同校教師、クラブ顧問の三本杉博美さんは、福島県出身。「芋煮会は、秋の晴れた日に河原で同僚や仲間と親睦を深める県民的行事です。みなさんにホツとしてもらえたら」と話していました。

学生からシニアまで多世代のボランティアが参加した交流会で参加者は、「法律相談ができて助かりました」、「学生さんたちにパワーをいただいて元気をもらった」と心も身体もほかほかで帰路につきました。



牛肉・しょうゆ味の山形風芋煮

ときどき「記者」持ち込み企画!



ジーパンにスニーカー!! 大阪下町・千林界隈を着物で散策 #キモノミテ



リサイクルマーケットで購入した着物を東洋きもの専門学校で着付けしてもらいました

情報誌COMVOで活動する市民記者「ときどき記者」のお勧めの大阪の賑わいを紹介します。

帽子をかぶり、着物を短くしてジーパンにスニーカー。洋服の上に羽織を着て、帯の替りに太いベルト。レトロ柄を上手に着こなす女性、素浪人風の着こなしの笑顔が素敵なお兄さん。着物男子が実にかっこいい! 千林、京街道に突如現れた若い男女の斬新な着物姿に、道行く人も思わず笑顔になります。

これは、千林界隈の暮らしをもっと楽しくする「1000ピースプロジェクト」(代表坂本幸彦さん)が主催するイベント。着物で散策して古き良き千林の魅力を発見してもらいたい! という願いと、若い人に自由な発想で着物の良さを体感してほしいという思いのもと、旭区内にある大阪唯一の着物専門学校「東洋きもの専門学校」とタイアップして、11月に着物交流イベント「#キモノミテ」を開催しました。

着物リサイクルマーケットでは、リサイクル着物や手作りの和アクセサリーの販売もあり、大賑わい。マーケットで購



老若男女が着物アレンジして着こなします

入した着物をすぐに着てまち歩き。和裁や着付け、デザインを学ぶ専門学校が無料で着付けを担当しました。商店街では、着物姿の特典として、たこやき無料、ランチも超安値、デザートサービスなど店主の心意気も半端ない。老いも若きも集まった着物参加者は約150人だとか。

普段は、ビヨウ柄のおばちゃん(わたし)も、とっておきの着物で、しゃなりしゃなりとまち散策。実り多い千林界隈を演出した1000ピースプロジェクト!! 楽しい秋のイベントでした。

ときどき「記者」井上玲子

情報マーケット

Information Market

「参加してみたい!」と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接「コンボを見て」とお問い合わせください。



情報マーケット掲載団体に 問合せするのに便利なQRコード

- 1 気になる情報があれば、スマホで
下記QRコードをバーコードリーダー
で読み取る
- 2 掲載団体の情報一覧を
ダウンロード!!
- 3 問合せ先、
団体ホームページなどに
アクセスできます!



④ 会報誌封入作業ボランティア募集

公益財団法人大阪みどりのトラスト協会

<http://ogtrust.jp>

当協会が発行する会報誌封入作業のお手伝いをしていただける人を募集しています。ご都合のよい時間の中でお手伝い下さい。皆様のご応募をお待ちしております。

日 程 12/19(水)、12/20(木)、12/21(金) 13:00~17:00

※発送作業は3.6.9.12月の年4回実施。

場 所 ATCビルITM棟11F西(住之江区南港北2-1-10)
地下鉄「トレードセンター前」駅 徒歩5分

人数・条件 交通費支給

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6614-6688 FAX/06-6614-6689
Eメール midori@ogtrust.jp (担当:福山)

① キッズプラザ大阪 2019年度 ミュージアムボランティア募集

一般財団法人 大阪教育文化振興財団 こどものための博物館 キッズプラザ大阪

<http://www.kidsplaza.or.jp>

遊んで学べるこどものための博物館で、展示物やプログラムを通じて、こどもたちの遊び・発見・学びをサポートしながら、一緒に楽しく遊ぶボランティア活動をしていませんか?

日 程 *土日平日コースのどちらかに参加したうえで体験研修1日の計4回の研修を受けてください
【事前研修】 土日コース:1/20(日)、2/17(日)、3/3(日) 17:30~20:30
平日コース:1/21(月)、2/18(月)、3/11(月) 13:30~16:30
【体験研修】 1/22(火)~2/5(火)のうち1日(9:15~17:15)

場 所 キッズプラザ大阪(北区扇町2-1-7) 地下鉄「扇町」駅 徒歩3分

人数・条件 18歳以上(高校生不可) 事前研修全てに出席可能な人
月2回以上活動可能な人 ※説明会:希望の方は要連絡

申込方法 所定の申込用紙(HPでダウンロード)に記入後、持参か郵送
締切:2019/1/12(土) 必着

問合せ▶ TEL/06-6311-6603 FAX/06-6311-6605
〒530-0025 北区扇町2-1-7 Eメール ip2019@kidsplaza.or.jp (担当:岩下)

⑤ こどもひろば日本語および教科学習支援ボランティア募集

公益財団法人 大阪国際交流センター

<http://www.ih-osaka.or.jp/international/kodomohiroba.html>

外国にルーツをもつ子どもへの日本語および教科学習支援を行っている「こどもひろば」で、支援に携わっていただくボランティアを募集しています。

日 程 こどもひろば
毎週月曜日 ①17:00~19:00 ②18:40~20:45
〈補習教室〉 毎週木曜日 15:00~18:00

場 所 大阪国際交流センター1階インフォメーションセンター内会議室
交流スペースL(天王寺区上本町8-2-6)
地下鉄「谷町九丁目」駅・近鉄「大阪上本町」駅 徒歩10分

人数・条件 若干名 資格は問いません/補習教室:高校入試科目指導可能な人

申込方法 電話(見学日をお知らせします)

問合せ▶ TEL/06-6773-8182 (担当:周)

② 第8回介護甲子園本大会 ボランティア募集

一般社団法人日本介護協会 介護甲子園

<https://kaigokoshien.org/>

介護の現場で働く人たちが最高に輝ける日です。介護業界と一緒に盛り上げる仲間を募集しています。「受付・誘導」などのお手伝い、休憩時などは一緒にイベントを楽しんでいただけます。

日 程 2019/2/21(木) 8:00~17:00

場 所 インテックス大阪6号館C (住之江区南港北1-5-102)
地下鉄「中津」駅 徒歩8分・「トレードセンター前」駅 徒歩15分

人数・条件 定員:100人 締切:2019/1/31(木) 食事あり

申込方法 Eメール
[名前][日中つながる連絡先][第8回介護甲子園ボランティア希望]を本文に記載。

問合せ▶ TEL/090-3705-9496
Eメール kazu-yamamoto@kawai-corp.co.jp (担当:山本)

⑥ 発送作業のお手伝いをしていただける人 募集!

大阪頸髄損傷者連絡会

月に1回程度、会報や行事案内などの発送作業をお手伝いしてくださる人を募集しています。封筒詰めや宛名シール貼りなど、簡単な作業になります。お気軽にご参加ください!

日 程 2019/2/10(日)、3/10(日) 10:00~12:30

場 所 大阪頸髄損傷者連絡会事務所
(都島区中野町3-4-21 ペルエキップ・オグラン1階 自立生活センターある内)
JR「京橋」駅・「桜ノ宮」駅・地下鉄「都島」駅 徒歩12分

申込方法 Eメール

問合せ▶ TEL/080-2446-3084
Eメール nekemasa@docomo.ne.jp (担当:中塔)

③ 国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会

国際親善車いすバスケットボール大阪大会実行委員会

<http://www.osakacup.org/>

盛りあげ隊募集。パラリンピックの花形競技「車いすバスケットボール」の躍動感にあなたも大興奮!一緒に大会を盛りあげましょう。

日 程 2019/2/15(金)、2/16(土)、2/17(日) 10:00~15:00
(試合時間はHP参照)

場 所 丸善インテックアリーナ大阪(港区田中3-1-40)
地下鉄「朝潮橋」駅 徒歩5分

人数・条件 (観戦無料)自由席にて、ご観戦をお願いします。ご来館時、観戦受付にて「盛りあげ隊」とお申し出ください。応援グッズをお渡しいたします。

問合せ▶ TEL/06-6606-1631 (担当:児玉)



子どもたちとゲームを楽しむボランティア

Voice

ここでは、過去に“情報マーケット”で掲載した団体の声をご紹介します！



団体名 児童発達支援・放課後等デイサービス ぼうむくうへん



活動内容についておしえてください。

障がいのある子どもたちが持っている良さを伸ばせるような活動に取り組んでおります。例えばソーシャルスキルトレーニングで買い物や片付けなど日常生活の行動や、学習教室の計算・文字の練習やゲームを取り入れたレクリエーションを通して社会のルールや自信をつけて将来の選択肢が増えることを目指しています。



ボランティア活動の内容をおしえてください。

子どもたちの学習見守り(小学校程度までの問題)や話し相手、おでかけなどの際の安全確保と補助をお願いしています。わからないことがあればスタッフが対応いたしますので、お気軽に参加していただければと思います。



掲載された後の反響はいかがでしたか？

3人のボランティアさんに来ていただきました。「楽しかった」「福祉に興味が増えた」「次回も参加したい」との声をいただきました。

9 障がいのある子どもたちと一緒に楽しく過ごしませんか？

NPO法人 規公会 児童発達支援・放課後等デイサービス ぼうむくうへん
<https://ameblo.jp/baumkuchen-kikoukai/>

平日 土日祝

障がいのある子どもたちと一緒に勉強を教えあったり、工作・絵画・球技・遊戯などの見守り・参加を行っていただけます。



日程 火曜日～金曜日(16:00～18:00)*児童長期休暇時は12:00～15:00
 土曜日(12:00～15:00)

場所 淀川区西中島3-5-12 新大阪浪速ビル101号室
 阪急「南方」駅・地下鉄「西中島南方」駅 徒歩約3分

人数・条件 1日数人(要相談)

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6829-6387 FAX/06-6829-6387

Eメール baumkuchen.kikoukai@yahoo.ne.jp (担当:金澤)

10 「Minamiこども教室」で一緒に活動しませんか？

Minamiこども教室

平日



Minamiこども教室は外国にルーツをもつ子どもたちを対象とした学習支援教室です。多様な文化的言語的背景をもつ子どもたちへの理解がある人にご参加いただきたいです。(日本語教師や教員免許などの資格は不要です)

日程 毎週火曜日 18:00～20:30
 *まずは毎月第4火曜日18:00～20:30のボランティア見学会にお越しください

場所 中央区子ども子育てプラザ(中央区島之内2-12-6)
 地下鉄「長堀橋」駅・「日本橋」駅 徒歩10分

人数・条件 10人

申込方法 電話、Eメール

問合せ▶ TEL/06-6711-7601

Eメール minami.kodomo.k@gmail.com (担当:金恵美)

11 平成31年度大阪区民カレッジ受講生募集中

NPO法人 大阪区民カレッジ

<http://www.osakakumin.org/>

平日



大阪区民カレッジは受講生が地元地域の現状や歴史、伝統、文化などについて総合的に学習し、併せて行政機関や地域住民の皆様と共に活動することをめざします。

日程 募集期間10/1～2019/3月末日、各校43人になり次第終了
 講座日:月曜日(26回/年間)10:00～15:00

場所 城東校(城東区) 東成校(東成区) 西校(西区)

人数・条件 受講料:26,000円(年間)

申込方法 来所

問合せ▶ TEL/06-6360-4565

中央区法円坂1-1-35 大阪市教育会館6F (担当:中沢)

7 第3回「全員集合!ボラセンまつり」運営ボランティア大募集!

平野区社会福祉協議会/平野区ボランティア・市民活動センター 土日祝

<http://hirano-kushakyo.or.jp/>

ボランティア仲間があなたのご協力をお待ちしています!いっしょに盛り上げよう! 活動内容としては、設営やセッティング、着るみや誘導、クリーンアップなどをお手伝いいただけます。

日程 2019/3/17(日) 9:00～16:00

場所 平野区民ホール・平野野堂公園(平野区平野南1-2-7)
 地下鉄「平野」駅5番出口 徒歩10分 シティバス「平野区民ホール前」 徒歩1分

人数・条件 高校生以上 締切:2019/2/8(金)

申込方法 電話・FAX・Eメール・来所

問合せ▶ TEL/06-6795-2525 FAX/06-6795-2929

平野区平野東2-1-30 平野区在宅サービスセンター

Eメール nico-nico.c@3sweb.ne.jp (担当:小谷)

8 みんなで歌おう!大人も子どもも!

子どもの居場所を考える会 ka・ta・ri (カタリ)

土日祝



自然に音楽を楽しめるイベントです。子どもたちや障がいのある人たちと一緒に歌を歌ったり、楽器を弾いたりしてください。子どもの居場所に関心のある人をお待ちしています。

日程 2019/1/26(土) 9:00～12:30

場所 平野区民ホール(平野区平野南1-2-7)
 地下鉄「平野」駅5番出口 徒歩10分

人数・条件 どなたでも 初めての人も大歓迎

交通費支給(上限1,000円まで)

申込方法 電話・FAX

問合せ▶ TEL/080-3843-1383 FAX/06-6794-3107 (担当:田淵)

⑩ソーシャルワークセミナー 支援力養成コース

公益財団法人大阪YWCA

<http://osaka.ywca.or.jp>

学習障がい、注意欠陥多動性障がい、自閉スペクトラム症その他の発達障がいがある子どもたちを、その学校生活から社会生活までどうサポートするか、第一線の現場での取り組みを聞いて理解を深めます。

日 程 2019/1/16、1/23、1/30、2/6、2/13 毎週水曜日
18:50～20:50

場 所 大阪YWCA(北区神山町11-12)
地下鉄「扇町」駅 徒歩5分

人数・条件 定員:30人 参加費:全5回9,000円 単発受講2,160円(いずれも税込み)

申込方法 電話・FAX・Eメール・ホームページ・来所

問合せ▶ TEL/06-6361-0838 FAX/06-6361-2997
Eメール info@osaka.ywca.or.jp (担当:牛江)

⑪都島区災害ボランティアセンター運営ボランティア養成講座

都島区社会福祉協議会

<http://www.miyakorin.com/>

被災地の支援を行う「災害ボランティアセンター」の運営をサポートするボランティアの養成講座を行います。

日 程 ①2019/1/19(土) 13:30～16:30
カードゲームで災害ボランティアセンターについて学ぼう。
講師:一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター
②2019/2/2(土) 14:00～16:00
訓練で災害ボランティアセンターを体験しよう。

場 所 ①ふれあいセンター都島 3階会議室(都島区都島本通3-12-31)
地下鉄「都島」駅1番出口 徒歩約10分
②都島区民センター1階ホール(都島区中野町2-16-25)
地下鉄・JR「京橋」駅 徒歩14分

人数・条件 定員:30人 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール・来所

問合せ▶ TEL/06-6929-9500 FAX/06-6929-9504
都島区都島本通3-12-31 Eメール miyvc@miyakorin.com (担当:紙屋)

⑫地域で支えあおう～明日の社会を創る子ども達のために～

東住吉区社会福祉協議会

<http://www.higashisumiyoshikusyakyou.or.jp/>

施設やそこで暮らす子どもたちについて、週末里親について
講師:上利久芳氏(社会福祉法人 聖家族の家 施設長)

日 程 2019/1/19(土) 10:00～12:00 受付:9:30～

場 所 東住吉区在宅サービスセンター さわかセンター
(東住吉区田辺2-10-18)
地下鉄「田辺」駅 徒歩8分

人数・条件 定員:20人(先着順) 参加費:無料 ※一時保育6人(要予約)

申込方法 電話・FAX・来所

問合せ▶ TEL/06-6622-6611 FAX/06-6622-8973
Eメール sawayakac2@yahoo.co.jp (担当:吉田)

⑬講師を派遣します

特定非営利活動法人和慧

<https://twitter.com/NpoWakei>

遺言と相続の基本、成年後見や任意後見、悪質商法についてなど
NPO法人和慧では終活支援活動の一環として、無料で講師派遣をおこなっています。

日 程 9:00～17:00

人数・条件 無料・日時、場所については打合せのうえ決定、
まずは電話でご相談下さい

申込方法 電話・FAX・Eメール・来所

問合せ▶ TEL/06-6536-8822 FAX/06-4395-5608
西成区山王1-13-11 Eメール wakei.npo@gmail.com (担当:石本)

⑭おはなしボランティア アンナンシ15周年記念事業

おはなしボランティア アンナンシ

15周年を記念して、中尾幸さん(竹の子文庫主催)と中尾和子さん(子どもの本の会代表)のおはなし会を行います。たくさんのお話のストーリーテリングを楽しみに来て下さい。

日 程 2019/1/26(土) 14:00～16:00、16:30～18:30

場 所 大正区コミュニティーセンター(大正区千島2-6-15)
地下鉄・JR「大正」駅・シティバス「大正区役所前」下車 徒歩1分

人数・条件 定員:各50人

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ TEL/080-3835-7230
Eメール miho.69.anns@au.com (担当:福元)

⑮「第26回ワン・ワールド・フェスティバル」開催!

ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会

<http://www.interpeople.or.jp/owf/>

西日本最大の国際協力を紹介するイベント。団体紹介ブース、ステージで世界のダンス・音楽の紹介、講演等プログラムが行われます。扇町公園で民族フード出店やスポーツイベントを開催。家族で楽しむ世界の祭りです。

日 程 2019/2/2(土)、2/3(日) 10:00～17:00

場 所 大阪市立北区民センター、扇町公園、カンテラ扇町スクエア1階ステージ
(北区扇町2-1-27)
地下鉄「扇町」駅・JR「天満」駅 徒歩1分

人数・条件 入場無料 ※ボランティアも募集中(詳細・申込はHP)

申込方法 不要

問合せ▶ TEL/06-6777-1039 (担当:川上)

⑯デスカフェ3

特定非営利活動法人こころの救急箱

<http://www.cocorono99baco.or.jp/>

デスカフェとはリラックスした雰囲気の中で、若年層が感じている「生きづらさ」や「死」を語り合うお茶会です。今回のテーマ「消えてしまいたい」と思ったことありませんか、自由に語り合う場に来てみませんか?

日 程 2019/3/2(土) 14:00～16:00

場 所 アネックスパル法円坂(中央区法円坂1-1-35)
地下鉄・JR「森之宮」駅 徒歩8分

人数・条件 定員:30人 締切:2/28(木) 若年層の人

申込方法 FAX・Eメール

問合せ▶ FAX/06-6942-9092
Eメール cocorono9090baco@kpa.biglobe.ne.jp (担当:種田)

⑰傾聴セミナー&ボランティア説明会

(社福) 関西いのちの電話

<http://www.kaindnew.com>

「聴く」ということは、自分自身の成長となり、自分らしさへの気づきにもなります。傾聴を学び、合わせて電話相談員養成のボランティア説明会も開催します。

日 程 2019/1/29(火) 19:00～20:30

場 所 千里文化センター「コラボ」2階フロア(大阪府豊中市新千里東町1-2-2)
北大阪急行「千里中央」駅北出口 徒歩2分

人数・条件 定員:30人 参加費:500円

申込方法 電話・FAX・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6308-6868 FAX/06-6308-6180
Eメール kaind@age.ac (担当:碓)

23 ハンディスポーツチャンバラ 会員大募集!

ハンディスポーツチャンバラサポートクラブ NAGAI
土日祝
継続
初心者OK

NAGAIユニバーサルチャンバラクラブでは健康・障がい者の垣根を越えてメンバーを募集中です。内容はスポーツチャンバラの基本動作・試合を行います。興味のある方は体験道場にお越し下さい。お待ちしております。

日 程 毎週土曜日 (詳細は担当に要問合せ)

場 所 長居障がい者スポーツセンター (東住吉区長居公園1-32) 地下鉄「長居」駅・JR「長居」駅 徒歩5分

人数・条件 入会登録費:3,000円(小太刀込み) 月会費:1,000円

申込方法 電話

問合せ▶ TEL/080-6194-9293 (担当:武田)

20 若年性認知症の人の居場所づくり講座

NPO法人 認知症の人とみんなのサポートセンター
土日祝
単発
初心者OK

<http://minnanospc.grupo.jp/>

当法人は、若年性認知症や初期の認知症の人の生きがいと新しい生き方を応援してきました。当法人の活動報告を通じて、生きがいづくり、失語へのサポートなど若年性認知症の人の居場所づくりと支援をお伝えします。

日 程 2019/3/2(土) 13:00~16:00

場 所 エルおおさか(中央区北浜東3-14) 地下鉄「天満橋」駅 徒歩8分

人数・条件 定員:60人 締切:2/28(木) 参加費:3,000円(会員は割引あり)

申込方法 FAX・Eメール

問合せ▶ FAX/06-6972-6490
Eメール dementia.spc@kxe.biglobe.ne.jp (担当:杉原)

24 未来につなぐふるさと基金 ~生物多様性の大切さを伝える活動を応援します~

公益財団法人パブリックリソース財団
<http://www.public.or.jp>

キヤノンマーケティングジャパン(株)様とパブリックリソース財団が立ち上げた「未来につなぐふるさと基金」では、生物多様性に関する市民参加型プログラムを協働で実施する団体を募集しています。

募集内容 生物多様性の保全・啓発を目的とした、市民参加型プログラム

支援金額 1団体あたり50万円
※上記助成金に加え、助成金以外の支援を提供致します。

申請方法 応募用紙については、HPからダウンロードできます。
(http://www.public.or.jp/PRF/fund/fund_03/)
 必要な応募書類(各5部)を「未来につなぐふるさと基金」まで郵便か宅配便で送付

応募締切 2019/1/10(木)必着

問合せ▶ TEL/03-5540-6256
 〒104-0043 東京都中央区湊2-16-25 202
 Eメール furusato@public.or.jp (担当:田中)

21 福島区コミュニティサロンフォーラム

福島区コミュニティサロン連絡会
平日
単発
初心者OK

コミュニティサロンが、人と人とのつながりの場として注目され福島区でも少しずつ広がりをみせています。気楽に立ち寄れるご近所に、もっともっと居場所が増えることを願い開催します。

日 程 2019/1/30(水) 14:00~16:00

場 所 福島区民センター1階ホール(福島区吉野3-17-23) 地下鉄「野田阪神」駅・阪神「野田」駅 徒歩8分

人数・条件 定員:200人 参加費:無料

申込方法 不要

問合せ▶ TEL/06-6454-0531 (担当:宮村)

25 子ども食堂などに学習機能を付与するための助成事業

一般財団法人中辻創智社
<http://nakatsuji-ff.org/>

子どもたちの教育機会を確保し、学習環境を整える事は、子どもたちが自分自身の将来を諦めずまわらないために重要であり、「子ども食堂」や「子どもの居場所」に学習支援機能を付与する意義は大きいと考え、取り組みを支援します。

応募要件 大阪府、京都府、滋賀県で子ども食堂や居場所を運営する団体
(法人格の有無は問わない)
※助成金の50%以上を学習支援のための人件費(大学生や大学院生などの若い世代)に充てること、それ以外は子どもたちが集まる場所を整備し運営するための用途に支出可能。

助成金額 1件につき上限50万円
締 切 2019/1/11(金)

申請方法 ホームページより申請書をダウンロードし必要事項を記入のうえ、メールでご提出ください。

問合せ▶ Eメール info@nakatsuji-ff.org

22 傾聴のテクニックを学ぶ ~基礎講座のご案内~

北区傾聴ボランティアの会
土日祝
継続
初心者OK

(協賛:北区ボランティア・市民活動センター)

傾聴に関心を持って集う会です。会員数は50人を超えました。聴いて銀で実践しながら学ぶ事でより深く理解できると、会員相互の学習会も定期的に行っています。初心者大歓迎、私達と一緒に活動して聴き上手になりませんか。

日 程 1月コース:2019/1/19(土)、1/26(土) 2月コース:2/16(土)、2/23(土) 13:00~15:00

場 所 北区社会福祉協議会(北区神山町15-11) 地下鉄「扇町」駅・JR「天満」駅 徒歩8分

人数・条件 ご希望のコースに2日間参加できる人、資料代1,000円
※基礎講座修了者は、次に本格的に学べる実践コースの場がございます。(3月中に2日間を予定)

申込方法 電話

問合せ▶ TEL/090-6061-5539 (担当:大宮)



情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。

申し込み方法 専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/sfgen/S53168917/>



申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
 天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 Eメール ocvic@osakacity-vnet.or.jp (担当:濱辺・縄・杉岡)
※本誌の発行日は8月と1月を除く毎月15日です。募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
 (例:平成31年3月15日発行号(4月号)に掲載希望の場合は1月末まで)

おことわり
 ※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。



～海外から日本へ～

大阪の高校に学ぶ 若者たち Vol.28

season 3

プロフィール

李紫涵(リシーハン)

ルーツ:中国

学年:高校2年生

好きなこと:K・POP、ダンス、歌うこと
柔道部と茶道部で活動。台湾高校生との
交流会で通訳しました



こんにちは!
您好!
(ニーハオ)

海外から来日、帰国して学ぶ高校生。
複眼的な視野をもつ彼らが毎号1人ずつ登場します。
(協力: NPO法人 おおさかこども多文化センター)

私は日本生まれで、日本と中国を行き来してきました。行き来する中で最も大変だったことは、4年前に日本に戻ってきた時、日本語が全然わからず、とっても不安でした。でも、言葉がわからなくなるたびに、みんな、ゆっくり喋ってくれたり、辞書で書いてくれて、優しく教えてくれ、私は日本語をはやく覚えることができました。学校の先生や家族、周りの友だちには感謝しています。

中学3年生の時には、多文化の集いで日本語で司会ができるまでになりました。今は周りの人を支えるために、先生のすすめで地下鉄で通訳ボランティアをやっています。自分の通訳を聞いて、理解

してほっとしている笑顔を見ると、私もとてもうれしい気持ちになります。毎回、楽しみに次の活動を待っています。そして、言葉は私にとってどれほど大事なのかも知ることができました。これを機会に、日本語と中国語をさらに勉強することができます。今、私は中国語と英語で通訳していますが、韓国語も、勉強していて、いつかは、この3ヶ国語がペラペラに使えるようになりたいです。

そして今、私は管理栄養士になれるように一生懸命がんばって勉強をしています。将来は世界で活躍できるようになりたいと思います。



「防災まち探検」で公園の“かまどベンチ”の使い方を紹介

その後、子どもが小学校に入学するころ、25年務めた仕事を退職。2013(平成25)年から母

親仲間10人で任意団体を立ち上げ、顔を合わせ情報交換でき

大阪府北部地震や台風21号など災害を身近に感じる機会が増え「我が事」として、各地で防災の取組みが広がっています。ママコミュニティドットコム代表の出水真由美さんは、育児休暇中に生後半年の我が子と飛び込みで参加した防災訓練で、赤ちゃんを抱えた人が参加しづらい雰囲気を感じました。その時、子どもの命を失わないために自分たちがやるしかないという思いが強くなりました。

昨年からは「食べる×防災」というテーマで、非常食クッキングや防災ピクニックなど、今年15歳以下の小中学生を対象にしたワークショップや防災ウォークなどを年間通して実施しています。「子育てしながら社会や地域とつながることを意識しています。子育て中の母親が防災に関心を持ち、子育て家庭

ボラ基金助成団体へ突撃取材 平成29年度大阪市ボランティア活動振興基金を助成した団体を紹介します。 災害時の活動者養成事業

子育て経験がプラスになる 災害活動を

ママコミュニティドットコム



代表 出水真由美さん

申込先はこちらから



ママコミュ!ドットコム

問合せ
TEL 090-1028-3719 Eメール info@mamacomu.com(出水)

U15のための防災ワークショップ

日時:平成31年1月13日(日)午前10時~正午
場所:大阪市男女共同参画センター中央館(クレオ大阪中央)
参加費:子ども300円、大人500円

(要予約: <http://mamacomu.com/u15nobosai/>)
(10歳未満とアレルギーのある子どもは、保護者同伴要)

アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. あると答えた人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか?その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>



(宛先)
大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO233号係」まで
(住所は下記参照)

※締め切り 2019年1月10日(消印有効)
※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。
※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。

大阪シティ信用金庫
社会貢献活動トピックス

「子どもお店バトル」に協力

当金庫は、11月17日に生野本通中央商店街で行われた「子どもお店バトル」に協力し、イベント内の模擬金融機関を出店しました。

これは、子どもたちがお店を運営する参加体験型のイベントで、事前に出店準備の作戦会議を重ね、当日は空き店舗の軒先などで3店舗(お菓子屋・みかんジュース屋・くじ引き屋)がお店を開きました。子どもたちのかわいい売り声に多くの通行人が足を止めて買い物を楽しみました。

当金庫が出店した「信用金庫」では、模擬の通帳や伝票を使って売り上げの入金を体験してもらうなど、「商売の面白さ、お金の大切さ」を学ぶお手伝いをしました。



当金庫が出店した「信用金庫」

みかんジュース屋さん

ボランティア・市民活動情報誌
コンボ
「COMVO」へ広告募集!

赤枠が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌「COMVO」。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)
- 申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
		幅	高さ
表4 1ページ	234,000円	240	170
表4 1/2ページ	127,500円	117	170
本文 1ページ	156,000円	240	170
本文 1/2ページ	85,000円	117	170
本文 1/5ページ	38,000円	48	162

※原稿は原寸大の完全原稿(ボジ・MOデータ)で入稿ください。それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

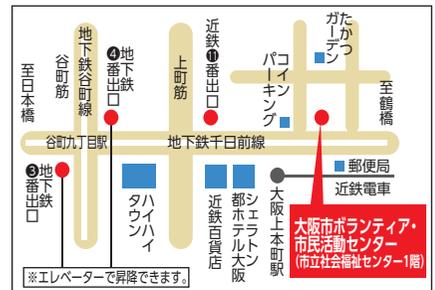
Osaka City Voluntary Action Center

所在地 / 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL / 06-6765-4041 FAX / 06-6765-5618

E-mail / ocvic@osakacity-vnet.or.jp <http://www.osakacity-vnet.or.jp>

- 開館時間: 午前9時30分～午後8時30分(月・水・金) 午前9時30分～午後5時(火・木・土)
- 休館日: 日・祝・国民の休日・年末年始
- 発行日: 2018年12月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
- 発行部数: 40,000部 ●制作協力: 商工印刷株式会社 ●点訳協力: NPO法人ぼこ・あ・ぼこ
- 本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



お知らせ

情報誌COMVOは年10回の発行です。
次回は平成31年2月15日発行になります。
(平成31年1月15日は休刊です)COMVO編集室

「COMVO」主な設置・配布場所

ウェブサイトからもチェック可能!
<http://comvo.lekumo.biz>

大阪市営地下鉄(新大阪・淀屋橋・本町・なんば・天王寺・なかもず・大日・太子橋今市・天神橋筋六丁目・東梅田・天満橋・谷町九丁目・喜連瓜破・住之江公園・大阪港・堺筋本町・野田阪神・日本橋・天下茶屋・大正・浦生四丁目・ポートタウン東 各駅)、阪神電車(梅田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫市内の店舗など

24区ボランティア・市民活動センター/ボランティアビューロー一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティアビューロー	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティアビューロー	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0083